



次期市議会議員  
上田由美子



市議会議員  
砂田喜昭  
Tel 67-4322



前参議院議員  
たけだ良介

禁無断転載  
複写配布

# 広島平和記念式典に中学生代表

## 「戦争のつらさ、平和の尊さを学びたい」

広島市で行われる平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式）に参加する市内中学生代表の出発式が8月5日正午から、小矢部市役所で行われました。



先日の豪雨で北陸線が不通となり、代表団の参加が危ぶまれましたが、バスで名古屋へ出て広島入りするコースに急きよ変更し、実施されました。

市長の激励の挨拶に答えて、中学生8人の代表は「戦争のつらさとむごさ、平和の尊さを学びたい」と述べました。

## 小矢部平和委員会も激励 「ヒバクシャの願いを感じ取って」

小矢部平和委員会の堀内喜亨さんは出発式で、激励金を手渡し、「ヒバクシャの皆さんは仕返しを求めたのではなく、『あのような苦しみは私たちが最後にしてほしい』と、核兵器禁止条約を求めました。昨年1月に発効するまで7年かかりました。まだ、核保有国は賛成していません。現地の人たちがどんな思いをしているのか感じ取ってきてください」と言葉を添えました。

## 憲法を守る小矢部の会が スタンディングアピール

憲法を守る小矢部の会が8月22日朝、石動駅北口交差点で「アベ国葬を許さない」「大軍拡ノー」「カルト集団統一協会と政治家は手を切れ」とスタンディングアピールをしました。

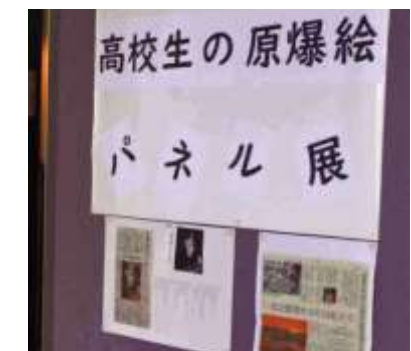
小矢部平和委員会の堀内喜亨さんは「憲法を踏みじり、海外で戦争する法律を強行したり、モリカケ問題でも国会で100回以上もウソを重ねたりした安倍氏を『国葬』にし、国民に弔意を強要することは許されない」と批判しました。

市議会議員に当選したばかりの上田由美子さんもマイクを持ち、市民の期待にこたえて頑張る決意を述べるとともに、ジェンダー平等社会の実現、カルト集団統一協会の危険性などを訴えました。



# 2022年「平和の波」

## 高校生の「原爆の絵」パネル展



小矢部市平和行進実行委員会 は、核兵器廃絶国際共同行動2022年「平和の波」の一環として、小矢部市民交流プラザで8月9日から11日まで、高校生の「原爆の絵」展に取り組みました。

「原爆の絵」展は、広島市の原爆資料館の呼びかけで、3年前から取り組まれています。被爆者がそのとき見たことを語り、高校生がそれを絵画作品として表現する活動です。60数枚のパネルには、それぞれ被爆体験証言者の説明がつけられています。「原爆に遭い、気付けば崩壊した家の前に立っていた奥田さん。周りには焼けただれた人がうずくまっていた」などのコメントを読みながら、鑑賞者たちは画面を凝視していました。



## 「戦争は怖い。むづい」 「繰り返すな」

70代の男性は、「被爆者の体験を何とかして共有しようとする高校生の態度には頭が下がります。これが高校生の作品かとびっくりするような出来栄です」と感想を述べました。30代の女性は「戦争は怖く、むづいものだと感じました。自分たちは実体験を語れないが、子どもにはこの作品に現わされたことを聞かせてあげたい」とコメントしました。

休憩コーナーでは「平和を語る会」が行われ、小矢部市在住の被爆者・森田正三さんの被爆体験が朗読されました。その場に偶然、東京大空襲直前に富山県へ疎開した方が3人おられ、その体験を紹介しながら、戦争だけではいけない、繰り返すなと強調されていました。



## 日本共産党創立100年 記念講演



志位和夫委員長がお話しします。  
オンラインで中継します。入場無料。

◆ 日時  
9月17日(土)  
午後1時より

◆ 会場  
小矢部市民交流  
プラザ  
1階101号室